

第1号議案 令和6年度事業報告書承認の件

令和6年度事業報告

令和6年度事業計画に基づき、奈良県をはじめ各関係行政機関、公益社団法人全国産業資源循環連合会（全産連）及び近畿地域協議会、公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター（JWセンター）等、関係団体と情報の共有及び連携を図りながら会員各位のご支援ご協力を得て各種事業を推進してまいりました。

本年度はコロナ禍での規制は全て解除され、許可講習会・労働安全衛生講習会・実務者研修会・施設見学会、奈良県より受託した研修会等を従前通り実施する事が出来ました。

1. 産業廃棄物適正処理推進事業

(1) 適正処理推進のための協会員施設パトロールの実施

奈良県廃棄物対策課及び景観・環境総合センターと情報の伝達交流を図りながら、我々協会員として、適正処理の推進を図るとともに、平成10年度より協会員処理施設へのパトロールを実施しており、令和6年度も次のとおり実施した。

▶令和6年 9月12日<北和地区>奈良市・生駒市・大和郡山市

中間処理場5カ所

▶令和6年10月18日<中和地区>王寺町・上牧町・田原本町・桜井市・宇陀市

中間処理場7カ所

▶令和6年11月26日<南和地区>御所市・下市町・大淀町

中間処理場・最終処分場6カ所

をパトロールし、いずれにおいても自主的に適正処理を推進している旨を奈良県・奈良県警察本部にパトロール訪問結果報告書及び施設パトロール写真を添付して報告を実施した。

(2) 奈良県「不法投棄ゼロ作戦」推進キャンペーンに参画

不法投棄ゼロの環境を目指し県民・行政・警察・事業者が一体となって啓発活動を行い、不法投棄の撲滅と県民一人ひとりが自ら環境を守る意識を醸成し、資源循環型社会を推進することを目的としているキャンペーンである。奈良県・奈良県警察・奈良市・奈良県市長会・奈良県町村会・奈良県循環型社会推進協議会・(一社)奈良県建設業協会・(一社)奈良県解体工事業協会・奈良県一般廃棄物事業協同組合及び当協会が実行委員会が構成され、当協会会長が実行委員長に就いている。

実行委員長川崎会長のもと今年度は、令和6年11月4日～11月10日を「不法投棄ゼロ作戦」強化週間として全県的なキャンペーンが実施された。

令和6年11月3日に三郷町文化センター1階文化ホールに於いて「不法投棄ゼロ作戦」啓発ポスター優秀作品表彰式を開催し、川崎会長より県内小・中・高生を対象に優秀作品等の表彰が行われた。

(3) 不法投棄物の撤去活動

春の観光シーズンを前に、みどり豊かな自然に恵まれ、国内有数の史跡を有する奈良県の景観を維持しようという目的で「大和路から不法投棄物をなくしましょう」をスローガンに、奈良県・奈良県警察本部の後援協力を得て、協会員と共に県下の市町村を対象に不法投棄物一斉撤去の支援活動を実施した。

- ▶令和7年2月 4日 市町村ご担当に向けて不法投棄物撤去活動実施についての案内をメール及び郵便にて送付
- ▶令和7年3月 4日 市町村より撤去要望の受付（橿原市商工経済会館7階）
集積場所の地図、不法投棄物写真を持参
- ▶令和7年3月14日 不法投棄物撤去 出発式

奈良県、奈良県景観・環境総合センター、奈良県警察本部の各ご代表及び不法投棄物運搬車両の参加のもと、午前8時30分より橿原運動公園の大駐車場をお借りして出発式を開催し、各市町村の不法投棄物集積場所へ出発した。

撤去には協会員事業所の4トン車のべ21台が参加し、奈良市・生駒市・山添村・平群町・河合町・天理市・三宅町・上牧町・香芝市・広陵町・葛城市・宇陀市・御所市・吉野町・東吉野村・五條市・川上村の計17市町村における不法投棄物 約84トンを撤去し、協会員の処分場へ搬入した。

この活動は平成4年度より毎年実施しており、今回は第33回目にあたるが今後も奈良県の豊かな景観を守るために県と協力し、継続していく予定である。

(4) 労働安全衛生の推進

産業廃棄物処理業における労働災害の発生は、他業種との比較においても高い傾向にある。全産連では令和5年度から9年度までの5ヶ年を「産業廃棄物処理業における第3次労働災害防止計画期間」とし、着実な実施に向けた取り組みが進められている。

昨年に引き続き労働安全衛生活動の現状を把握するため、中間処理および最終処分事業者の協会員にご協力を頂き、アンケート形式で安全衛生活動の現状調査を12月～1月に実施した。対象36社のうち16社からご回答があり、結果については全産連へ報告した。

加えて本年度は、協会員向けに日常的な安全衛生活動と啓発を図るため、労働安全衛生講習会を下記内容にて実施した。

- ▶令和6年9月18日（13:30～16:20）

橿原市商工経済会館 7階中ホール（受講者26名）

開会挨拶：（一社）奈良県産業廃棄物協会 川崎 勝也 会長

講演：職場の労働安全災害防止、安全衛生の向上に向けて

講師：中央労働災害防止協会 技術支援部

安全管理士 青木 泰 氏

プレゼン：水分補給の大切さ、熱中症対策等

（株）日本トリム 本社営業部 橋本 健太郎 氏

(5) 災害廃棄物処理体制への協力・支援

▶奈良県災害廃棄物対策教育・訓練【図上演習】への参加

平時から大規模災害に備え、災害廃棄物対策のスキルアップを図るとともに、協定等に基づき毎年奈良県主催で市町村および協定締結団体と処理体制の確認を目的とする教育・訓練である。

今年度はオブザーバーとして伊藤副会長、協会員（有丸進商会）で参加した。演習目的としては、初動期（直後と1週間以内）において重要な災害廃棄物対策についての習熟にある。

令和7年1月30日 奈良県市町村会館8階 大研修室にて開催

<演習概要>

奈良県内で直下型地震による災害が発生したことを想定し、被災市町村を県内の被災していない市町村が支援を行いながら災害廃棄物処理を行うための対応を中心に実施した。

- ・警報発令段階からの、体制の確立や被害の情報収集
- ・発生3日程度後の収集体制の確立、仮置場の確保

<協力要請>

当協会への協力要請としては、災害廃棄物の撤去、収集・運搬、処理・処分に対して当該市町村から協力の依頼を受ける。

▶奈良県災害廃棄物対策教育・訓練【基礎・実践編】への参加

平時から大規模災害に備え、災害廃棄物対策のスキルアップを図るとともに、協定等に基づく処理体制の確認を目的とする教育・訓練であり今回初めて開催された。

演習概要としては、災害廃棄物処理に係る基礎や取組みを学習後、災害廃棄物対策の初動体制等についてワークショップ形式ですすめられた。

当協会からは川崎会長、伊藤副会長、協会員（有丸進商会）で参加。

令和6年11月19日 奈良県市町村会館8階 大研修室にて開催

尚、奈良県と当協会は、「地震等大規模災害時における災害廃棄物処理等の協力に関する協定書」を平成21年8月25日に締結している。

(6) 適正処理促進のための情報提供及び相談への対応

協会員、協会員以外の処理業者及び排出事業者や一般県民多数からの産業廃棄物及び一般廃棄物（処理困難物）の適正処理についての相談対応、産業廃棄物許可証の取得に係る手続きや許可講習会の申込方法、紙マニフェストや委託契約書の記載方法等さまざまな質疑の照会に対応し、また必要に応じて行政担当部門と連携を図りながらこれらを実施した。

(7) 「麗（うるわ）しい奈良県づくり」推進協議会への参画

この協議会は、奈良ならではの美しい景観や持続可能な社会を構築するため、“オール奈良”による全県的な実施活動を誘発・促進する推進母体として平成28年に設立され、以降毎年参画している。

年度途中で名称変更

「きれいに暮らす奈良県スタイル」 → 「麗（うるわ）しい奈良県づくり」

- ▶令和6年6月 4日 環境パトロール出発式へ参加（奈良県庁 正面玄関前）
- ▶令和7年1月24日 総会（春日野国際フォーラム～薨～レセプションホール1）
令和6年度 麗しい奈良県づくり功劳賞 の表彰状授与
事例発表、行動計画の進捗状況説明、意見交換 等
（「きれいに暮らす奈良県スタイルジャーナル」は廃刊となりました）

(8) 「奈良県循環型社会推進協議会」への参画

奈良県は国を代表する歴史文化遺産や豊かな自然環境に恵まれており、これらの貴重な財産を守り活かしながら、次の世代に引き継いでいかなければなりません。そのため県では、環境への負荷ができる限り低減される持続可能な社会、いわゆる「循環型社会」の実現を目指し様々な取り組みを進めています。

この協議会はその一環として、県民・事業者・行政がそれぞれの役割を果たしながら連携し、「3R」を推進していくために設置されています。

今年度もこの構成委員として、また委員公募評価員として参画しました。奈良県リサイクル認定製品の審査や奈良県廃棄物処理計画事業の進捗などを議事として協議されています。

（ 協議会委員公募評価員・・・川崎 会長
協 議 会 委 員・・・松本 副会長 ）

2. 情報関連事業

(1) 各種情報を収集・提供するために各種行事への参加及び各種事業を行った。

① 全産連の下記会議等行事(対面及びWeb又はハイブリット会議)に参加した。

- 令和6年6月14日 第14回定時総会（明治記念館）
- 9月 6日 第1回マニフェスト推進委員会（Web会議）
- 9月10日 第1回建設廃棄物部会運営委員会（ハイブリット会議）
- 令和7年2月 4日 全国正会員事務局責任者会議（Web会議）
- 2月19日 正会員会長会議（衆議院憲政記念館）

（総務・倫理委員会は、令和6年度 開催なし）

（ 総務・倫理委員会・・・川崎 会長
マニフェスト委員会・・・三井 副会長
建設廃棄物部会運営委員会・・・伊藤 副会長 ）

② 全産連 近畿地域協議会へ参加

- ▶令和6年 3月22日 書面開催（全産連役員および委員について）
- ▶令和6年 7月12日 滋賀県協会主催（琵琶湖ホテル）
 - 講演：環境省における資源循環に向けた取組（再資源化事業等高度化法）について
 - 講師：環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物規制課 課長 松田 尚之 氏
 - 議題：全産連の活動について、役員等及び表彰者の推薦について
- ▶令和7年 1月31日 京都府協会主催（ホテルグランヴィア京都）
 - 講演：令和6年能登半島地震における災害廃棄物処理について
 - 講師：近畿地方環境事務所 資源循環課 奥田 孝史 氏
 - 議題：全産連の表彰者等の推薦について、高度化法に係る環境省に対する要望について、マニフェスト価格設定の調査結果、全産連の活動について、青年部全国大会の開催について

(2) 産業廃棄物処理についての業界情報・法律改正等の最新情報を提供するために下記の事業を行った。

- ① 正会員に日報ビジネス発行の「週刊 循環経済新聞」（日報ビジネス発行）を送付した。（令和6年6月末にて送付終了）
- ② 賛助会員に全産連より毎月5日に発行される「インダスト」（産廃処理と資源循環の総合専門誌）を送付した。
- ③ 協会情報機関誌「クリーンコミュニケーション第33巻」を8月に発行し、協会会員及び関係者に配布した。
- ④ 行政等からの各種情報を郵送、協会HPへの掲載、F a x ・メール等で会員に提供した。

(3) インターネット事業

協会ホームページへ行政関連や許可講習会、協会からのお知らせ、会員情報等を必要都度に応じて更新した。

(4) 第12回通常総会を開催

令和6年5月28日に橿原オークホテルで通常総会を開催した。

▶議案及び報告事項

- 第1号議案 令和5年度事業報告及び収支決算、監査報告について
- 第2号議案 任期満了に伴う役員の変更と選任（新任および辞任）の件
- 報告事項1 令和6年度事業計画及び収支予算について

3. 表彰の実施

産業廃棄物の適正処理による県内環境保全の向上に寄与し、また事業活動を通して業界の発展に貢献された方や事業所、及び各事業所の発展に貢献従事された従業員にその功労をたたえ顕賞するため、当協会会長名による表彰を次の通り実施した。

▶表 彰 日：令和6年5月28日（榎原オークホテル）

表彰内容：功 労 者 表 彰 1名
優良事業所表彰 1事業所
優良従事者表彰 11名

また、昨年度までに協会表彰を受けた中から、全産連表彰へ推薦し受賞された。

功 労 者 表 彰 1名
優良事業所表彰 1事業所
地方優良事業所表彰 1事業所
優良従事者表彰 3名

4. 組織拡大事業

協会事業の継続的な推進の為には会員の増員が重要課題である。新規加入案内パンフレットを作成し、会員からの新規加入を薦めていただくようお願いした。また、同時に賛助会員の新規加入についても紹介加入を推進した。

5. 業務知識の向上

① 産業廃棄物処理実務者研修会の開催

令和6年11月6日（13:30～16:30）に榎原市商工経済会館7階大ホールにて、下記の内容で研修会を実施した。

参加者：63名（当協会会員 21名、一般 42名）

開会挨拶：一般社団法人 奈良県産業廃棄物協会 川崎 勝也 会長
講 義：産業廃棄物処理の基礎、産業廃棄物の委託処理と委託契約、
産業廃棄物管理票（マニフェスト）、帳簿、質疑応答
講 師：公益社団法人 大阪府産業資源循環協会
専務理事・事務局長 龍野 浩一 氏

② 施設見学会の実施

令和6年10月25日 協会員を対象に下記の内容で施設見学会を実施した。

参加者：20名

<実施内容>

▶三重中央開発(株) 三重リサイクルセンター（三重県伊賀市）

1) 事務所棟にてビデオ・PP等で事業所説明

2) 事業所内見学

ジオメルト無害化施設、管理型最終処分場、RPF（固形燃料）製造施設、焼却（サーマルリサイクル）施設、プラスチック：マテリアル（材料）リサイクル施設

▶大栄環境(株) 伊賀リサイクルセンター（三重県伊賀市）

1) 事業所内見学

メタン発酵（バイオガス発電）施設、堆肥化施設（食品リサイクルループ）

2) 質疑応答

▶(合)木質バイオマス五條発電所（奈良県五條市）

1) 事業所にてPP等で事業所（プラント）説明

2) 事業所（プラント）内見学

6. 奈良県より受託の「産業廃棄物適正処理促進研修実施業務」の開催

今年度より奈良県から随意契約で受託し、奈良県・協会共催研修事業として下記

(1)・(2)の研修会を開催した。

環境省の取組みとして、“循環経済（サーキュラーエコノミー）への移行”をカーボンニュートラルの実現や生物多様性の保全と併せて、地方創生・産業競争力強化・経済安全保障への貢献も盛り込む方向で検討されており、その推進に向けて大きく変化をしようとしている。法案においては脱炭素化と再生資源の質と量の確保等の資源循環を一体的に促進するため基本方針が策定された。今年度の研修会では令和6年5月に公布された再資源化事業等の高度化法、また労働安全衛生法の改正により新たな化学物質規制に伴う対象物取扱事業所の化学物質管理者選任とリスクアセスメントの義務化についてなど、社会環境の変化も意識しながら研修会を実施した。

募集案内については、近畿圏（一部地域除く）の事業者へ送付し、参加者全員に研修会修了証およびCPDS（継続学習制度）受講証明書を配布した。

(1)「産業廃棄物排出事業所管理者研修会」参加人数：142名

▶令和7年2月20日（13:00～16:30）に橿原市商工経済会館7階大ホールにて、近畿圏内の排出事業所など（定員：150名、受講申込者：195名）を対象に下記の内容で研修会を実施した。

開会挨拶：奈良県 廃棄物対策課 高木 康人 課長
（一社）奈良県産業廃棄物協会 川崎 勝也 会長

講演①：廃棄物処理法及び産業廃棄物処理の管理事務

②：新たな化学物質規制の制度導入について

講師：株式会社ユニバース 環境コンサルティング事業部 部長
主任コンサルタント 子安 伸幸 氏

(2) 「優良処理事業者育成研修会」参加人数：111名

▶令和7年2月21日（13:00～16:30）に橿原市商工経済会館7階大ホールにて、奈良県を中心とする許可業者など（定員：100名、受講申込者：132名）を対象に下記の内容で研修会を実施した。

開会挨拶：前日と同様

講演 ①：再資源化事業等高度化法の概要

②：再考！欠格要件について

講師：公益社団法人 大阪府産業資源循環協会
専務理事・事務局長 龍野 浩一 氏

7. 産業廃棄物管理票（マニフェスト）及び廃棄物処理委託契約書の頒布普及事業

マニフェスト及び委託契約書の頒布普及は、産業廃棄物の適正処理のため廃棄物処理法に基づき実施している公益事業であり、新たな利用者への説明も含めて頒布普及を行った。

なお、令和7年5月1日よりマニフェストの販売価格を改定する。

8. 許可申請に関する講習会協力事業

JWセンター・全産連と連携を図り、申込者からの照会(申込方法等の案内)、試験会場の設営、講習会当日の運営協力等を行い、令和6年度 奈良県会場では下記のように開催をした。(全てオンライン講習会)

課 程	試験日（令和6年度）	参加人数
新規・収集運搬	9月25日	131名
更新・収集運搬	9月25日 11月20日	103名 83名
混合① 新規・処分 更新・処分	9月26日 (同時開催)	15名 15名
特別管理産業廃棄物 管理責任者	11月20日	66名

コロナウイルス感染症による感染拡大防止策として定員数が減少されていたが、徐々に増加され、今年度はコロナ禍以前と同等規模に戻った。

また、あらたに処分課程の新規および更新が同時開催されることとなった。

(処分課程は、収集運搬課程もあわせて受講申込が可能である)

9. 青年部活動

奈良県青年部は、下記のような事業を実施した（活動報告書により）

- 令和6年4月20日 全産連青年部協議会
3ブロック親睦チャリティーゴルフコンペ（兵庫県西宮市）
- 〃 5月17日 全産連青年部協議会 近畿ブロック
令和6年度通常総会（ホテル日航奈良）
- 〃 5月28日 奈良県産業廃棄物協会 青年部 第12回通常総会
（橿原市商工経済会館7階）
- 〃 6月13日 全産連青年部協議会 第25回通常総会（AP新橋 東京）
- 〃 8月 8日 施設見学会・納涼会（株グリーンアローズ関西 大阪府堺市）
- 〃 9月 6日 全産連青年部協議会 近畿ブロック
スポーツ交流会・親睦食事会（兵庫県神戸市）
- 〃 10月18日 田舎3県視察旅行（滋賀・奈良・和歌山 3協会合同）
～20日 （株R&E 北海道）
- 〃 11月27日 全産連青年部協議会 第14回カンファレンス in えひめ
（ANAクラウンプラザホテル松山）
- 〃 12月 5日 奈良県産業廃棄物協会 青年部 ゴルフコンペ&忘年会
（奈良柳生C、奈良市）
- 令和7年1月24日 全産連青年部協議会 近畿ブロック賀詞交歓会
（びわ湖大津プリンスホテル 滋賀県大津市）
- 〃 2月20日 奈良県産業廃棄物協会 適正処理促進研修会における
～21日 会場受付等の運営補助業務（橿原市商工経済会館7階）

10. その他の協力支援活動

県、市町村及びその他の団体の開催する環境・廃棄物等に関連する行事や活動について必要に応じ協力支援活動を行った。

(1) 家畜伝染病支援活動（県畜産課、家畜保健衛生所 主催）

- ▶令和6年度は、実施なし。
- ▶令和5年10月11日 家畜伝染病防疫演習 家畜保健衛生所（大和郡山市）
演習想定：奈良市内の養鶏場にて高病原性鳥インフルエンザ発生
参加：(株)I・T・O 様
- ▶令和4年10月 家畜伝染病防疫演習 家畜保健衛生所（大和郡山市）
演習想定：トラックでの積み下ろし演習
参加：南部環境開発(株) 様

尚、奈良県と当協会は、「特定家畜伝染病発生時における支援活動業務に関する協定書」を令和元年8月19日に締結している。

(2) 「奈良マラソン2024」鴻池陸上競技場等の廃棄物処分の協力支援活動

奈良マラソンは平城京遷都1300年を記念して行われており、昨年度からコロナ禍を脱して、土曜日（ミニマラソン）、翌日曜日（マラソン）の2日間に渡って以前と同等規模で開催された。

平成25年度より当協会は協力支援活動を行っており、今年度も鴻ノ池運動公園施設内及びマラソンコース走路から排出されるペットボトル・廃プラスチック等や可燃ゴミの収集運搬及び処分の依頼を受けた。協会員のご協力を得てコンテナ設置、収集運搬及び処分について、スムーズに実施する事が出来た。

（奈良マラソン開催日：12月7日～8日 2日間）

12月 5日 コンテナの搬入設置

中央広場（東）：5基、中央広場（西）：4基、
競技場（東）：1基、競技場（西）：2基
可燃ごみ 10基、その他のごみ 2基

8日 マラソンコース：パッカー車2台

9日 コンテナの搬出（12台）